

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年11月14日(2013.11.14)

【公開番号】特開2013-32393(P2013-32393A)

【公開日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-008

【出願番号】特願2012-247190(P2012-247190)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/10

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 27/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月26日(2013.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

メントール、カンフル及びボルネオールからなる群より選択される1種以上の清涼化剤と、非イオン界面活性剤及びグリシン型両性界面活性剤からなる群より選択される1種以上の界面活性剤とを含有させることを特徴とする、ソフトコンタクトレンズへの清涼化剤の吸着が防止されるソフトコンタクトレンズ用点眼剤の製造方法。

【請求項2】

点眼剤が、人工涙液型点眼剤である、請求項1に記載の製造方法。

【請求項3】

清涼化剤に対して10から100倍の非イオン界面活性剤及びグリシン型両性界面活性剤からなる群より選択される1種以上の界面活性剤を含有させることを特徴とする、請求項1または2に記載の製造方法。

【請求項4】

pH 5.5～8.0に調整することを特徴とする、請求項1～3のいずれか1項に記載の製造方法。

【請求項5】

ソフトコンタクトレンズ用点眼剤に、メントール、カンフル及びボルネオールからなる群より選択される1種以上の清涼化剤と、非イオン界面活性剤及びグリシン型両性界面活性剤からなる群より選択される1種以上の界面活性剤とを含有させることを特徴とする、ソフトコンタクトレンズへの清涼化剤の吸着を防止する方法。

【請求項 6】

点眼剤が、人工涙液型点眼剤である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

清涼化剤に対して 10 から 100 倍の非イオン界面活性剤及びグリシン型両性界面活性剤からなる群より選択される 1 種以上の界面活性剤を含有させることを特徴とする、請求項 5 または 6 に記載の方法。

【請求項 8】

pH 5.5 ~ 8.0 に調整することを特徴とする、請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の方法。